



インターンシップ報告書 2022

《発行》兵庫県経営者協会 インターンシップ事務局
〒650-0034
神戸市中央区京町 76 番地 2 明海三宮第 2 ビル 2F
☎ 078-321-0294
✉ internship@hpea.jp
🌐 <https://hyogo-internship.jp>

兵庫県経営者協会 インターンシップ事務局

2022年度のインターンシップ事業推進にあたり、コロナ禍の中、積極的に実習の場を提供いただいた、企業・団体の皆様には改めて御礼申し上げます。

また、学生が安心して参加できるよう、フォローいただいた学校関係の皆様にも御礼申し上げます。

さて、昨年三省合意のもと、「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」の発表がありました。

当事業については、ひき続き兵庫県からの受託事業として、学生のキャリア形成支援にかかわる4類型を取り扱い、県内の企業の魅力を学生に伝えながら、学生にとってもより充実した学びの場になるよう企業⇄学生・学校間の架け橋としての役割を担ってまいります。

特に2023年度においては、①**地元企業・働く人の魅力発信力の向上** ②**低学年のキャリア形成支援の充実**を重点課題として、多様化するニーズに沿った情報発信に取り組んでまいりますので、更なる連携やご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

インターンシップ報告書 2022

Contents

インターンシップ事業概要	P.02
インターンシップ実施状況	P.03
インターンシップ協力企業・学校一覧	P.09
企業・学校・学生アンケート結果	P.11
参考資料：キャリア形成支援活動4類型について	P.14

インターンシップ事業概要

沿革

平成11～13年度	労働省（現厚労省）委託事業「インターンシップ導入促進等支援事業」
平成14～17年度	厚労省から日本経団連（東京経協）への委託事業「インターンシップ受入企業開拓事業」を再受託
平成18～19年度	兵庫労働局委託事業「インターンシップ受入企業開拓事業」 →姫路経協・尼崎経協に各地区の事業を再委託
平成20～21年度	（情報提供のみ）
平成22年度	兵庫経協独自事業
平成22年度（12月） ～24年度	兵庫県委託事業「中小企業人材確保インターンシップ事業」
平成25年度	兵庫県委託事業「中小企業魅力発見インターンシップ事業」
平成26年度 ～令和4年度	兵庫県委託事業「大学生インターンシップ推進事業」 →平成28年度～ 姫路経協・尼崎経協への再委託により全県下へ推進 →平成29年度～ マッチングサイト「兵庫県インターンシップシステム」運用

2022年度実施概要 ※2023年度の実施概要に関しましては、『2023年度 企業・学校向けマニュアル』をご確認ください。

- 実施主体** 兵庫県経営者協会、姫路経営者協会、尼崎経営者協会
連携 兵庫県、神戸市、兵庫労働局、神戸商工会議所、兵庫工業会、大学コンソーシアムひょうご神戸
- 対象企業** 兵庫県内の企業、行政機関、公共機関など。
- 対象学生** 「兵庫県インターンシップシステム」登録校に在籍している学生。
全国の大学・大学院、短期大学、高等専門学校（4年生・専攻科生）、専門学校生が対象です。
- 実施時期・内容** ※2020年10月よりコロナ禍の特例を設定。詳細は⑥に記載しています。
時期 通年（推奨期間）【夏期】7～9月（共通の募集締切を設定 ①6/3 ②6/10）【春期】1～3月
内容 就業体験を伴う2日間以上のプログラム
- その他**
補助等 原則として無報酬ですが、企業によって交通費や昼食などを支給いただく場合があります。
各社の受入条件の詳細は「兵庫県インターンシップシステム」募集情報ページに掲載されています。
保険 参加学生はインターンシップ保険（災害傷害保険・賠償責任保険など）に加入必須です。
各学校を通じて学生への加入指導を行っています。
- インターンシップ開催条件の特例について**
2021年度に引き続き、インターンシップ事業の運営方法に関する特例を設定しました。
対象期間 2022年4月11日（月）～2023年3月31日（金）
特例：一部開催条件の変更 ■変更前：就業体験を伴う2日間以上のインターンシップ
↓
■変更後：就業体験を伴うインターンシップ
※採用に直結するものではなく、「就業体験」という趣旨を前提としたうえで、
①開催日数・時間数の条件なし。
②就業体験に準じるプログラムを実施可能な場合は、オンラインによる「リモート開催」も可とする。

補足：1日間の開催について

- ・従来のインターンシップと区別するため、「1day 仕事体験」と表記する。
- ・就業体験（ロールプレイングも可）を含むプログラムとする。
- ・2023年卒、2024年卒生のみを対象とした募集は不可とする。
- ・企業⇄学校間の覚書などの書類締結を原則不要とする（学生本人とは締結可）。

インターンシップ 実施状況

2022 年度 スケジュール

インターンシップ実施に関する各種手続きは、マッチングサイト「兵庫県インターンシップシステム」上で管理しています。システムでは通年（4月上旬～翌年3月末）でインターンシップ募集・参加を受け付けていますが、ここでは開催数が最も多い「夏期」を中心にご報告します。

「兵庫県インターンシップシステム」[URL] <https://hyogo-internship.jp>

※ 2023 年度のスケジュールに関しましては、随時「兵庫県インターンシップシステム」を通じてご案内します。

	事務局	企業	学校	学生
4月	4/11 システム稼働 学生周知 学内ガイダンス参加	①登録情報更新 or 新規登録	①登録情報更新 or 新規登録	①利用登録
5月	〈企業〉【夏期】 募集情報の確認	②募集公開 ③学生選考	②学生周知	②エントリー
6月	〈学校・学生〉【夏期】 募集情報の案内 エントリー状況の確認		③受入可否確認	
7月	〈学生〉6/5 「ひょうごインターンシップフェア ～企業と学生の交流会」開催	④連絡調整 ⑤覚書締結 (必要な場合のみ)	学生サポート ③覚書締結 (必要な場合のみ)	④連絡調整・参加日程登録 ビジネスマナーセミナー (希望者のみ)
8月	〈学生〉7/3 「ビジネスマナーセミナー」 「アンバサダー 事前ミーティング」開催	募集推奨期間 【夏期】7～9月		
9月	〈学生夏期休暇〉インターンシップ実施			
10月	〈学生〉10/2 「アンバサダー報告会」開催	随時①～⑤ 募集推奨期間 【春期】1～3月	随時①～③	随時①～④
11月	〈学生〉11/12 「保護者・学生のための 就活応援セミナー」開催			
12月	インターンシップアンケート実施			
1月	〈学生春期休暇〉インターンシップ実施			
2月	2/20 「2023 年度インターンシップ説明会」開催			
3月	報告書発行			
4月	システム更新			

2022 年度の取り組み

学生向け 低学年向けプログラム「ひょうごアンバサダーインターンシップ」

企画概要	<p>低学年の学生を対象に県内企業の魅力発見を促し、学生の「仕事理解」や「グループワーク」を通じ「プレゼンテーションスキル」の習得を目指すプログラムを実施しました。</p> <p>〈企画の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 7/3(日): 「事前ミーティング」参加者及び参加企業との顔合わせ+意識付け ↓ 【個人ワーク】 プランニングシート (目標設定)・参加準備シート (企業研究) 8～9月: それぞれの希望企業でインターンシップを体験 ↓ 【個人ワーク】 プレゼンシート (プログラムの振り返りと改良案の検討) 10/2(日): 「アンバサダー報告会」グループワーク+プレゼン大会
受入企業	<p>【募集】 18社 → 【受入決定】 7社 ※各学生の希望をもとに事務局側でマッチングを行いました。</p> <p>〈受入企業〉 ※コロナによる開催中止分も含む</p> <ul style="list-style-type: none"> 神戸中央青果(株): 4名 株式会社はれコーポレーション: 2名 株式会社ダイネンヒューマンplus(就職サイトはりまっち): 5名 株式会社ホンダカーズ兵庫: 3名 株式会社電建: 2名 (一財)兵庫県雇用開発協会: 5名 株式会社日東社: 3名
参加学生	<p>【エントリー】 25名 → 【参加】 24名 ※エントリー学生全員が参加できるよう調整を行いました。 新型コロナの影響で、開催方式の変更や学生からの参加辞退がありました。</p> <p>〈参加学生所属校〉 ※大学1～2年生</p> <ul style="list-style-type: none"> 芦屋大学: 1名 神戸学院大学: 3名 関西国際大学: 11名 創価大学: 1名 北九州市立大学: 1名 兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス: 3名 神戸海星女子学院大学: 2名 武庫川女子大学: 2名
事前 ミーティング	<p>【日時】 2022年7月3日(日) 10:00～13:00 【会場】 スペースアルファ三宮 【参加学生】 23名 【プログラム】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開会挨拶: 事務局 アンバサダー自己紹介 受入企業による自社紹介: 神戸中央青果(株) / 株式会社ダイネンヒューマンplus(就職サイトはりまっち) / 株式会社はれコーポレーション 先輩学生のインターンシップ体験談: 関西国際大学・兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス 各グループによるミーティング・目標設定
アンバサダー 報告会 (事後研修)	<p>【日時】 2022年10月2日(日) 13:00～16:30 【会場】 スペースアルファ三宮 【参加学生】 20名 【プログラム】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開会挨拶: 事務局 グループワーク①体験発表 感想・意見などの全体共有 グループワーク②プレゼン準備 グループ対抗プレゼン大会 アンバサダーアワード発表 講評: 兵庫県労政福祉課

参加学生の声

「事前ミーティング」がある事によって、他の学生の意気込みを聞き、モチベーションがあがりインターンシップに参加することが出来た。

アンバサダー報告会では、久しぶりにグループのメンバーに会い、自分と異なる意見を聞くことで、それぞれの感じ方や成長の違いがわかり勉強になった。

インターンシップに参加して終わりではなく、事前・事後に研究し発表し合うことでより理解が深められるので参加出来て良かった。



学生向け Kiss FM KOBE インタビュー企画「ガクンNAVI」

今年度の活動方針のひとつ“地元企業・働く人の魅力発信”を目的として、昨年に続きFMラジオ局 Kiss FM KOBE 協力のもと「Kiss Music Presenter」番組内でインタビュー企画「ガクンNAVI」を放送しました。ヴィッセル神戸などで活躍した元Jリーガーの近藤岳登さんによる実際のインターンシップ体験とインタビューにより、ここでしか聞けない“生”の声をお届けしました。※2021年度分も掲載しております。



2/22 放送 トラストメディカル(株)



3/29 放送 (株) 阪技



4/26 放送 永井産業(株)



5/31 放送 (株) 山田工務店



6/28 放送 神戸中央青果(株)



7/26 放送 (福) きらくえん

開催イベント

学生向け 企業向け ひょうごインターンシップフェア〈学生と企業の交流会〉

学生が対面形式で、地元企業の方から、企業の魅力や仕事にやりがいなどを直接「聞く」ことができる交流イベントを、感染対策を講じながら対面形式で開催しました。

日時	6月5日(日) 13:00~16:30	会場	神戸クリスタルホール
プログラム	①参加企業スピーチ(前編 後編 2回) ②交流タイム(各回 20分×5回)		
参加企業数 20社	(株)ウエルネス/金井ホールディングス(株)/(株)香山組/(福)きらくえん/キンキテレコム(株)/シバタ工業(株)/ (株)清水設計事務所/情報セキュリティ(株)/大日グループ(大日通信工業(株)・大日電子(株))/ (株)ダイネンヒューマンplus(就職サイトはりまっち)/トラストメディカル(株)/ (医)にしきた 西宮北口歯科口腔外科/日新信用金庫/日東コンピューターサービス(株)/ (株)濱本ジェネラルコーポレーション/(株)阪技/ピーピングホールディングス(株)/ミツ精機(株)/ 加古川市役所/兵庫県警察		
参加学生 所属校 28校	明石工業高等専門学校/芦屋大学/大阪大谷大学/大阪経済大学/大阪芸術大学/大阪産業大学/ 大阪公立大学/大阪電気通信大学/大手前大学/関西大学/関西福祉大学/関西学院大学/京都女子大学/ 近畿大学/甲南大学/神戸海星女子学院大学/神戸学院大学/神戸芸術工科大学/神戸市外国語大学/ 神戸女学院大学/神戸女子大学/奈良大学/羽衣国際大学/兵庫大学/兵庫県立大学/ びわこ成蹊スポーツ大学/武庫川女子大学/流通科学大学		
参加学生数	〈事前申込〉136名 〈訪問〉93名 延べ308名企業訪問 ※参加者学年 大学・高等専門学校1~2年生:10名/大学3年生:79名/大学4年生:4名		

参加学生の声

企業スピーチの説明の仕方により、企業の特徴を知ることができ、新たな角度から自分にあった業界や職種を考え直すきっかけとなった。

スピーチされたどの企業の方も、ただ話すだけでなく、短い時間で楽しく話をされていたので、魅力的に感じた。

中小と呼ばれる企業にもたくさんのお優良企業があることを知り、選択の幅が広がった。

交流会では、企業の方が、参加しやすい雰囲気を作ってくれてはいたが、漠然と「質問ありますか?」より、クイズ形式である程度ポイントを絞ってくれると発言しやすいと感じた。

過去にあった質問とその回答や、資料だけではなく実際に働いている映像を見ることができれば、より質問がしやすいと思った。



学生向け 事前研修「ビジネスマナーセミナー」

ビジネスマナーの基礎習得と、楽しみながら行える自己分析を通じて、インターンシップや今後の就活に向けての心構えを身につけるための研修を開催しました。今回は対面とZoomによる参加型のセミナーと、その様子を録画したYouTubeによるオンデマンド配信を準備しました。

日時	7月3日(日) 13:30～16:00	講師	(株)SORA 代表取締役 角本氏
参加学生数	〈会場〉スペースアルファ三宮 16名 〈当日ZOOM〉6名	〈オンデマンドYouTube〉	再生回数：232名
プログラム	ビジネスマナーの基礎習得・実践練習/自己理解のワーク/グループワーク など		

\\ 参加学生の声 //

ペアの学生との実践練習で、自分が気づけなかったことにも気づくことが出来ました。

電話対応やメールのマナーなどの具体例が分かりやすく、今後に活かすことができると感じました。「知る」だけでなく、実践して「できる」ように精進したい。

基本のビジネスマナーだけでなく、自己理解のワークで自身の強みや弱みを客観的に知ることができた。

相手を思って行動することが一番大切ということがわかり良かったです。



学生向け 「保護者・学生のための就活応援セミナー」

コロナ禍において、サークル活動や、先輩・後輩の縦のつながりも少なく、就活の取り組みに不安を感じている学生や、自身の就活スケジュールと様変わりしており、どのようなアドバイスや見守りが適切かと悩む保護者の声を耳にします。当セミナーでは、実践的な企業研究や自己分析のノウハウの講演ののちに、地元企業の採用担当者や、若手社員の方から、欲しい人材や自身の就活体験談をお聞きし、参加者が知りたい疑問にお答えいただきました。

日時	11月12日(土) 10:00～12:30	会場	兵庫県経営者協会
プログラム	①基調講演 『～今から実践～保護者・学生のための就活ノウハウセミナー』 CDA ひらやま事務所 代表 平山 展也氏 ②地元優良企業によるリアルトークと質疑応答：ミツ精機(株)/香山組 ③兵庫県経営者協会 インターンシップ推進事業の説明		
参加者数	〈会場+当日ZOOM〉17名 ※会場：兵庫県経営者協会 会議室	〈オンデマンドYouTube〉	再生回数：74回

\\ 参加者の声 //

子の就活サポートのために参加したが、役立つ情報がたくさんあり参加してよかった。

企業の方の採用目線や、若手社員の方の実際の就職活動の事例は現状を知るためにとても参考になりました。

自己PR、ガクチカ、志望動機を一つ一つ取り上げてそれぞれの狙いやそれに合わせた書き方を知ることができ、企業研究の仕方も具体的にわかりやすかったです。



企業向け **学校向け** 「2023年度インターンシップ説明会」「企業と大学の情報交換会」

次年度の方針や取り組みに関する「説明会」と、産学交流のための「情報交換会」を対面で開催しました。

日時	2023年2月20日(月) 13:00～16:30	会場	ホテルクラウンパレス神戸5階
プログラム	①「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」事務局による説明 一般社団法人 日本経済団体連合会 SDGs 本部長 池田氏 ②基調講演「23年卒・24年卒の学生行動から見るインターンシップの実施のポイントは？」 株式会社マイナビ 就職情報事業本部 関西・中四国営業推進統括部 地域人材支援担当 課長 畑氏 ③兵庫県経営者協会・姫路経営者協会による実績報告・次年度説明 ④企業と大学の情報交換会		
参加者数	【企業】73社 85名 【学校】34校 36名 【関係機関】7団体 9名		
情報交換会参加学校33校	亜細亜大学/芦屋大学/追手門学院大学/大阪音楽大学/大阪観光大学/大阪産業大学 大阪体育大学/大手前大学/大手前短期大学/関西国際大学/関西大学/関西福祉大学/関西学院大学 京都女子大学/神戸芸術工科大学/甲子園大学/甲南大学/神戸海星女子学院大学 神戸国際大学/神戸松蔭女子学院大学/神戸女子大学/神戸女子短期大学/神戸親和女子大学 神戸薬科大学/島根県立大学 浜田キャンパス/摂南大学/創価大学/園田学園女子大学/奈良県立大学 梅花女子大学/姫路獨協大学/佛光大学/流通科学大学		



基調講演の様子



企業と大学の情報交換会

企業向け勉強会 「動画で魅力発信！～自社紹介動画の作り方講座(アドバンス編)」

昨年に引き続き短時間で多くの情報を発信可能で、Z世代の学生のニーズの高い「自社紹介動画」の作成セミナーをワークショップ形式で開催いたしました。今回はアドバンス編ということで、動画作りの企画・アイデアから、講師が用意した動画の編集ワークまで、より実践的な内容でレクチャーいただきました。

日時	2023年3月9日(木) 13:30～16:00	会場	兵庫県経営者協会 会議室
講師	帝塚山学院大学 リベラルアーツ学科 専任講師 佐藤氏		
プログラム	・動画で魅力発信する意味とは？ ・動画作りの企画・アイデアについて ・体験ワーク(発想法・編集、音声、テキスト挿入) など		
参加者数	9名		

インターンシップ協力企業・学校一覧

■ インターンシップ募集企業 学生実績内訳 (企業→官公庁 50 音順)

【登録企業】 299 社 うち 【募集企業】 60 社 (59 社+アンバサダー)

2023 年 1 月末時点

企業・団体名	エントリー	参加決定	企業・団体名	エントリー	参加決定
アシックストライアスサービス(株)	1	1	阪神測建(株)	0	0
アスカカンパニー(株)	1	0	(一財) 兵庫県雇用開発協会	1	1
(株)尼崎工作所	0	0	平田建築設計(株)	0	0
Earthink (株)	2	2	ビーイングホールディングス(株)	1	1
池田建設(株)	0	0	福井建設(株)	0	0
(株)ウエルネス	1	1	(株)フレイマー	0	0
(株)オカモト・コンストラクション・システム	1	1	(株)ベネスト	1	1
金井ホールディングス(株)【金井重要工業(株)トクセン工業(株)】	2	2	(有)マルブン	0	0
(株)香山組	0	0	ミツ精機(株)	0	0
旭光電機(株)	0	0	三菱電機(株)	5	2
(福)きらくえん	0	0	三菱電機コントロールパネル(株)	1	1
キンキテレコム(株)	2	2	(株)山田工務店	1	1
桑村繊維(株)	1	1	(株)大和工業所	0	0
(一財) 神戸市水道サービス公社	1	1	和田山精機(株)	0	0
神戸中央青果(株)	3	2	加古川市役所	55	26
(株)神戸マツダ	3	3	兵庫県警察	176	72
(株)三協パーツ商会	1	1	兵庫県庁	263	140
(株)サージ・コア	0	0	兵庫労働局 ハローワーク	4	4
シバタ工業(株)	0	0	防衛省 自衛隊兵庫地方協力本部	3	3
(株)島田組	0	0	ひょうごアンバサダーインターンシップ		
(株)清水設計事務所	1	1	金井ホールディングス(株)【金井重要工業(株)トクセン工業(株)】		0
社会保険労務士法人リライエ	1	1	(株)香山組		0
情報セキュリティ(株)	1	0	(株)木内計測		0
西菱電機エンジニアリング(株)	0	0	神戸中央青果(株)		4
(株)セラピット	0	0	(株)ダイネンヒューマン plus (就職サイトはりまっち)		5
第一ゴルフ(株)	0	0	(株)電建		2
大日グループ(大日通信工業(株)/大日電子(株))	0	0	西宮北口歯科口腔外科		0
(株)ダイネンヒューマン plus (就職サイトはりまっち)	2	2	(株)日東社		3
(株)電建	0	0	長谷川電機工業(株)		0
(株)DATAKIT	0	0	(株)はれコーポレーション	25	2
トラストメディカル(株)	4	3	(株)阪技		0
西宮北口歯科口腔外科	2	2	阪神測建(株)		0
日新信用金庫	4	3	平田建築設計(株)		0
日東コンピューターサービス(株)	2	2	(株)ホンダカーズ兵庫		3
長谷川電機工業(株)	0	0	福井建設(株)		0
(株)浜田工務店	1	1	社会保険労務士法人リライエ		0
(株)濱本ジェネラルコーポレーション	1	1	(一財) 兵庫県雇用開発協会		5
原田建設(株)	1	1	防衛省 自衛隊兵庫地方協力本部		0
(株)阪技	0	0	合計	579	314
阪神水道企業団	4	4			

※全て延べ人数 コロナ等による中止分を含めた実績を掲載

■ インターンシップ利用校 学生実績内訳 (エリア別 50 音順)

【登録学校】 229 校のうち【学生登録のあった学校】 135 校

2023 年 1 月末時点

エリア	学校名	登録	参加決定	エリア	学校名	登録	参加決定	エリア	学校名	登録	参加決定
兵庫	明石工業高等専門学校	12	12	東京	早稲田大学	1	1	大阪	関西外国語大学	2	0
	芦屋大学	6	3	神奈川	神奈川大学	2	0		関西大学	28	7
	大手前大学	11	1	富山	富山県立大学	3	0		近畿大学	19	8
	大手前短期大学	4	0		富山大学	1	1		堺女子短期大学	1	0
	関西国際大学	13	11	石川	金沢工業大学	2	1		摂南大学	5	1
	関西福祉大学	4	2	金沢大学	1	1	帝塚山学院大学		3	0	
	関西学院大学	50	18	福井	福井県立大学	2	2		羽衣国際大学	1	1
	甲南女子大学	10	2	山梨	都留文科大学	1	0		桃山学院大学	2	0
	甲南大学	46	20	長野	信州大学	1	0		大和大学	4	4
	神戸海星女子学院大学	8	3	岐阜	岐阜大学	2	1		帝塚山大学	1	0
	神戸学院大学	96	26	愛知	愛知学院大学	2	0	天理大学	2	0	
	神戸芸術工科大学	1	0		愛知県立大学	1	0	奈良県立大学	1	1	
	神戸国際大学	14	1	三重	中京大学	2	1	奈良女子大学	3	0	
	神戸市外国語大学	24	3		皇學館大学	1	0	奈良大学	2	0	
	神戸松蔭女子学院大学	5	1	滋賀	三重大学	4	3	公立鳥取環境大学	2	0	
	神戸女学院大学	23	5		滋賀県立大学	4	0	鳥取大学	8	5	
	神戸女子大学	22	6	京都	長浜バイオ大学	1	0	島根大学	5	2	
	神戸女子短期大学	1	0		びわこ成蹊スポーツ大学	2	0	岡山大学	28	12	
	神戸親和女子大学	3	1		岡山	京都外国語大学	4	1	岡山理科大学	1	1
	神戸大学	35	7			京都外国語短期大学			2	1	
	神戸薬科大学	5	0		京都華頂大学	1	0	環太平洋大学	2	1	
	姫路獨協大学	5	1		華頂短期大学			1	0	吉備国際大学	1
	兵庫 県立 大学	神戸防災キャンパス	2		1	京都産業大学	13	3	ノートルダム清心女子大学	1	0
		明石看護キャンパス	1		0	京都女子大学	12	3	尾道市立大学	1	1
		淡路緑景観キャンパス	6		3	京都造形芸術大学	1	1	広島経済大学	1	1
神戸商科キャンパス		80	12		京都大学	7	2	広島修道大学	2	0	
播磨理学キャンパス		3	2	京都橋大学	3	1	広島大学	8	3		
姫路環境人間キャンパス		30	9	京都府立大学	4	3	福山市立大学	1	0		
姫路工学キャンパス		2	0	同志社大学	13	3	下関市立大学	2	0		
兵庫大学	11	8	福知山公立大学	1	1	山口県立大学	1	0			
武庫川女子大学	28	7	福岡山公立大学	1	1	山口大学	4	2			
武庫川女子大学短期大学部			佛教大学	7	1	徳島	徳島大学	7	3		
流通科学大学	15	6	立命館大学	11	3	徳島文理大学	1	1			
岩手	岩手大学	1	1	龍谷大学	16	7	香川	香川大学	7	4	
	慶應義塾大学	1	0	追手門学院大学	4	1	愛媛	愛媛大学	10	5	
東京	上智大学	1	0	大阪	大阪大谷大学	1	0	高知	高知県立大学	2	0
	創価大学	11	2		大阪学院大学	9	2		高知大学	4	3
	大東文化大学	1	0		大阪教育大学	3	0	福岡	北九州市立大学	2	1
	拓殖大学	1	0		大阪経済大学	15	4		九州工業大学	1	0
	中央大学	2	0		大阪経済法科大学	17	4		九州大学	2	2
	東京大学	1	0		大阪工業大学	5	2	福岡大学	1	0	
	東京農業大学	1	2		大阪公立大学	22	6	佐賀	佐賀大学	1	0
	東洋大学	2	0		大阪産業大学	13	3	長崎	長崎大学	2	1
	日本大学	1	1		大阪女学院大学、短期大学	1	1	大分	大分大学	1	0
	日本文化大学	2	0		大阪体育大学	2	1		立命館アジア太平洋大学	1	0
	法政大学	1	0	大阪大学	7	1	鹿児島	鹿児島大学	3	0	
				大阪電気通信大学	2	0	沖縄	琉球大学	2	1	
				合計			合計	1018	314		

※参加決定数・合計数は延べ人数 ※複数キャンパス登録校は本部所在地に記載 ※コロナ等による中止分も含めた実績を掲載

企業・学校・学生アンケート結果

※全て回答者比

企業アンケート (回答数: 45)

Q1 インターンシップエントリー学生の特徴の変化

- オンラインのインターンシップを実施したことで、参加へのハードルが下がり、興味を持ってくれる学生が増えた。また、遠方(県外等)からの参加者が増え、安定して開催することができた。
- 3年生についてはコロナ禍により学外での経験が減ったためか、いままでの学生に比べ、積極性やコミュニケーションが低下しているように感じたが、低学年の1~2年生は、しっかりした学生が多かった印象。
- 仕事の内容をしっかりと確認した上で、就職先を決めていきたいと思う学生が増えた印象。そのため、インターンシップについても「説明会」に参加して、**カリキュラムの内容や担当者の雰囲気**を直接感じてから**申込み**学生が増えたように感じる。
- 対面方式での開催を参加基準に考えている**学生が多く、社内の雰囲気や業務内容が理解できたという声があった。

Q2 インターンシップ実施の上で工夫していること

- 大学等の単位認定にも対応できるようなカリキュラム内容を提供。
- 学年に捉われず1,2年生の受入など間口を広くしている。
- 現場体験や技術的な体験については、**学生の専攻内容も考慮**して、難易度をよく検討する。
- 1 day 仕事体験では**会社説明ではなく業界に焦点を当て業界理解**を促し、実務体験は1 day 以外のカリキュラムで設定している。
- 受入学年・開催日・カリキュラムの内容に**出来るだけ学生の希望を取り入れる**など、柔軟な対応を心掛ける。
- 講義が多くならないよう対話を重視し、**若手社員との座談会や他の学生とのコミュニケーション**を取り入れる等の雰囲気づくり。
- 仕事説明の際は視覚的に分かりやすくし、**楽しさややりがいだけでなく、難しさ、厳しさも伝えている**。
- 管理部門のみで実施することなく、実際の工事現場で施工管理職の技術者と接することが出来るように工夫。
- 自分の適性などに気づきがあるような内容と**振り返りの時間**をとっている。
- 参加学生個別のフィードバックの時間を設けている。

学生目線に立ち様々な工夫をされている中で、学生が希望する体験内容と実際に提供可能な就業体験のマッチングに課題を感じている声が多くありました。

Q3 新制度に期待していること

- 当事者(学生)が新制度を望んでいるのが不明だが、**学生の満足度が高まるプログラムを検討**してゆきたい。
- タイプ1, 2なら実施できるが、タイプ3, 4の実施については、会社(社員)の負担が大きく、インターンシップ開催ができる企業とできない企業の差が広がり、採用にも影響があるのでは?と懸念する。
- 個々の学生のニーズにより対応しやすいと感じる。
- 「キャリア支援」というのであれば、企業単独でなく、大企業が主導となって関係する中小企業複数社と合同で実施するインターンシップを実施してはどうか? **学生に様々な企業や業種を見てもらい、視野を広げてもらえれば**と思う。

Q4 学校へのご意見・ご要望

- 高等専門学校はインターンシップで先生との接点があるが、大学でも教授・講師陣との接点を希望する。
- 知名度の高い企業だけではなく、学内の企業研究会等に参加できるなど、**情報発信をする場**を提供頂きたい。
- 授業と連携を考えているので事前アンケートを実施したい。
- 単位認定型のインターンシップの場合などは、その**意義や取り組み方を事前に十分レクチャー**していただけると、学生本人も企業にも良いインターンシップになると思う。
- リモートであったとしても無断欠席などすることがないように**最低限のマナーなどを身につけて**ほしい。
- 翌年の参加学生がより自分に合ったプログラムを選べるように、参加学生の意見、感想といった情報を学内で共有して頂きたい。
- 企業名だけでなく、プログラムで体験先を選ぶ学生を増やしてほしい。
- 学生へのフィードバックをどこまで踏み込んでいいのかなど**学校からアドバイス**を頂きたい。

※全て回答者比

学校アンケート (回答数: 74)

Q1 インターンシップ・就職活動に対する学生の動向や相談内容の変化

- 低学年教育の成果もあり、1 day 仕事体験やオンラインで気軽に参加する学生が増えた一方で、やりたいことが分からずインターンシップに参加しなかったという学生も多数いる印象。
- 積極的に動く学生と、自分からは何も動こうとしない**学生との二極化が更に進んだ**と感じる。
- 2021年度はコロナ自粛の反動でインターンシップや就職活動に危機感を持って学生が臨んでいたが、2022年度はスタートが遅く積極性に欠けていた。
- オンラインでの実施では企業側になかなか質問がしづらいという声が多く、**対面での募集企業の問い合わせ**が多かった。
- アルバイトやボランティアをしたことがない学生がいて、学生時代に頑張ったことについて書くことがないと悩む学生が増えた。
- 友人や先輩などとの交友関係が希薄で、就活等の相談がしづらくネットの情報に頼る学生が多い。
- 就職活動のやめ際について悩む学生が増えた。就職活動は早期化しているが、早期で動く学生ばかりではなく、長期化もしている。
- 学生の活動量、活動の幅が減り、大学のイベントに参加しなくなっている。

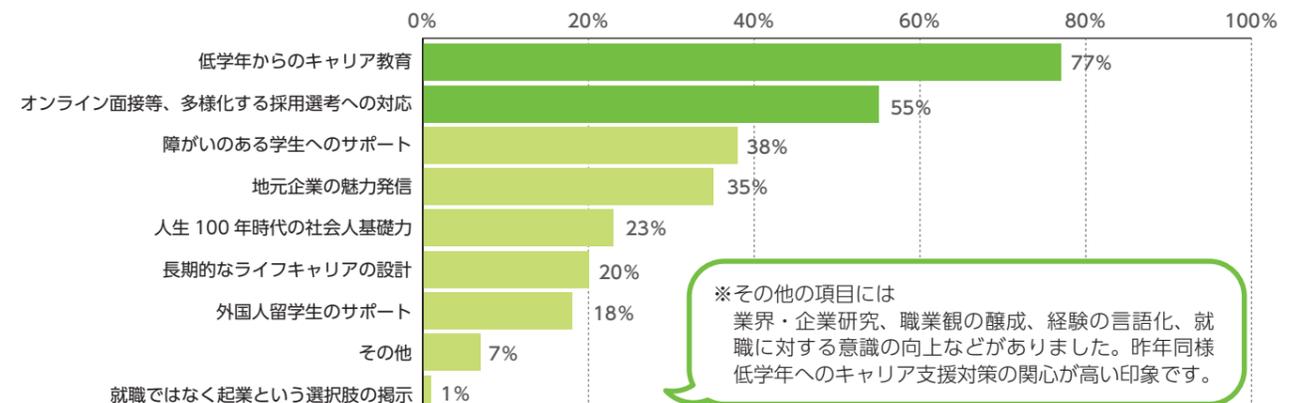
Q2 企業へのご意見・ご要望

- 学年不問**で受け入れ頂くプログラムが増加すればありがたい。
- 授業を欠席することがないように**学業との両立**に協力いただきたい。
- 学生は、企業の雰囲気や社員同士の接し方などを知りたいと感じているようなので、**入社間もない社員の方とのコミュニケーション**があるプログラムを提供いただきたい。
- 内容によってリアルとオンラインを使い分け、できるだけ**対面形式のインターンシップ**を開催していただきたい。
- インターンシップの実施が早期選考、囲い込みに繋がらないように、学生の仕事理解や社会人との交流の場として本来的な意味での実施をお願いしたい。
- 汎用的能力・専門活用型インターンシップを産学連携で実施したい。

Q3 新制度への期待や懸念

- 低学年の学生の就業体験型インターンシップへの参加機会**が失われる事が懸念される。
- 学生がタイプを理解し、目的と選択基準を持つことが重要で学生に対する啓発に相当の時間を要すると思われる。
- 就業体験ができるインターンシップが増えることで、学生の**業界や企業への理解度が向上することを期待**。
- 学生のキャリア形成にとって有益な活動が増えることを期待しつつ、積極的に動く学生と無関心な学生との二極化を懸念する。
- インターンシップと呼べるプログラムが減るのでないかが気になる。
- タイプ1や2もキャリア形成の観点から大切**とは感じるが、正課として認めるかどうか検討が必要。

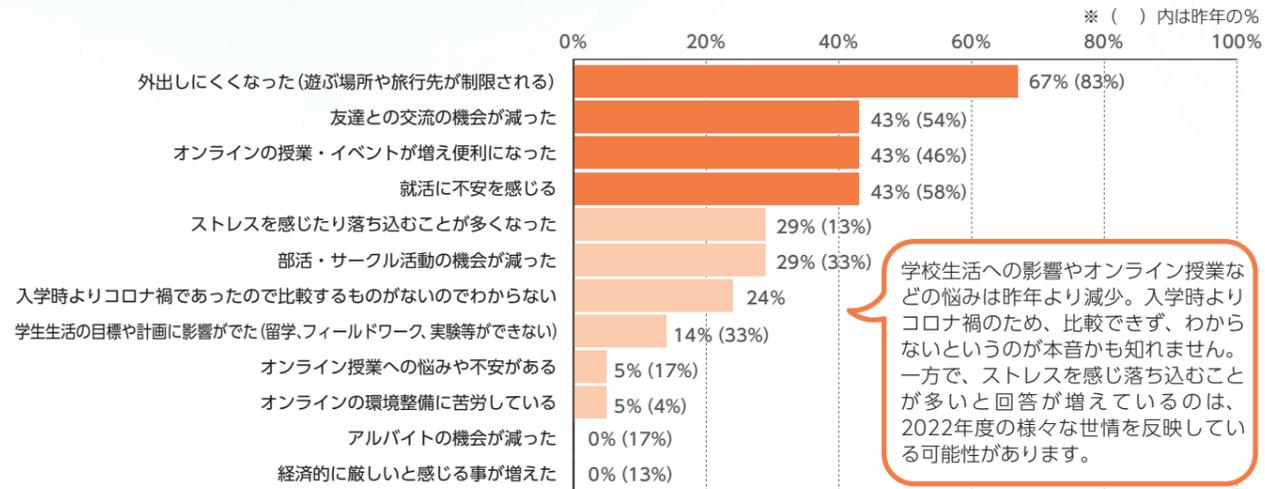
Q4 今後のキャリア支援で特に対策が必要なもの ※最大3点選択



学生アンケート (回答数: 24 / 内訳: 大学1~2年生 46%, 3年生 46%, 5年生・院生 8%)

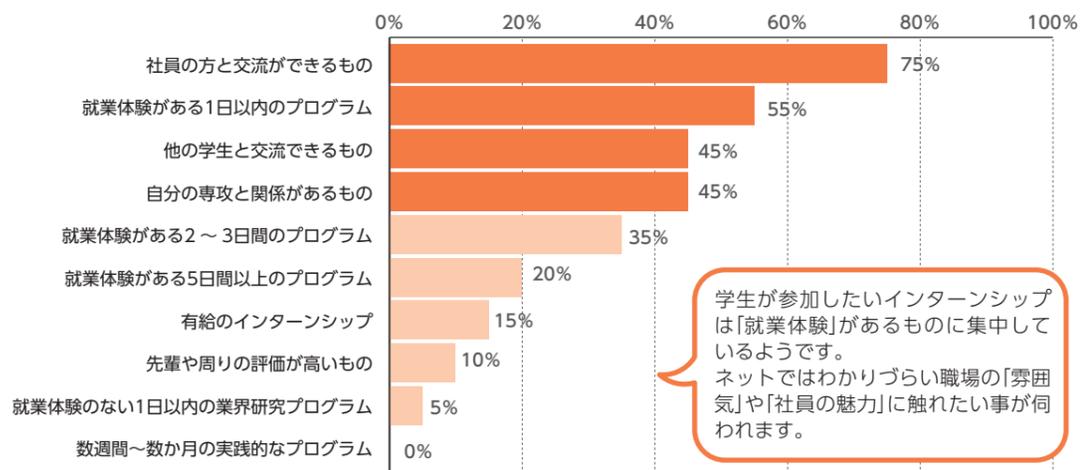
※全て回答者比

Q1 コロナ禍で特に影響を感じているもの ※3つ選んで回答



学校生活への影響やオンライン授業などの悩みは昨年より減少。入学時よりコロナ禍のため、比較できず、わからないというのが本音かも知れません。一方で、ストレスを感じ落ち込むことが多いと回答が増えているのは、2022年度の様々な世情を反映している可能性があります。

Q2 参加したいインターンシップのプログラム ※複数回答可



学生が参加したいインターンシップは「就業体験」があるものに集中しています。ネットではわかりづらい職場の「雰囲気」や「社員の魅力」に触れたい事が伺われます。

Q3 今年度参加したインターンシップの感想と課題と感ずる点

〈良い点〉

- 直接採用担当者と話すことができ、会社の雰囲気を掴むことができた。
- 実際に働くとなったときの通勤時間がわかった。
- 些細なことも質問しやすかった。
- 社員の方と目を見て話すことができ、意識の高い学生と交流できた。

- 参加が難しい時間帯や遠方の企業に参加でき、スーツを着る必要がなくリラックスして参加できた。
- 電車の遅延など気にせず参加できた。

〈課題と感ずる点〉

- 移動時間や交通費の負担。
- スーツ着用のハードルが高いと感じた。
- 新型コロナウイルスへの感染の不安。
- 日程調整に時間がかかった。

- 会社の雰囲気が掴めない。
- 音声聞き取りづらくネット環境に左右されやすかった。
- 社員の方や他の学生と交流しづらい。
- 拘束時間が長く、疲れやすいと感じた。

参考資料：キャリア形成支援活動 4 類型について

2023 年度から「インターンシップ」が変わります！

経団連と国公私立大学で構成される「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」は、政府が定める現行の就職活動日程ルールを前提に、インターンシップの定義を改めるとともに、学生が自らのキャリアを主体的に考えるための活動を「学生のキャリア形成支援活動(4類型)」として整理することに合意しました。

これを踏まえて、文部科学省・厚生労働省・経済産業省は3省合意を「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」と改正し、大学生等のキャリア形成支援活動を類型化するとともに、一定の基準を満たしたインターンシップで企業が得た学生情報を、現行の就職活動日程ルールに沿って広報活動や採用選考活動に使用できるよう見直しました。

当協会インターンシップ事業においても、2023年度は上記の方針に沿って事業を展開します。大きな変更に伴い混乱も予想されますが、自分らしく主体的にキャリア形成に取り組めるような学生支援と、県内企業の魅力発信を目的に引き続き取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。※当事業では、タイプ1~4 類型の全てを取り扱います。

採用と大学教育の未来に関する産学協議会「産学で変えるこれからのインターンシップ」

学生のキャリア形成支援活動 (4 類型) — 特徴の比較 —

以下の表は、学生のキャリア形成支援活動(4類型)の主な特徴を一覧表にまとめたものです。各タイプの特徴に関するより詳しい内容については、産学協議会2021年度報告書「産学協働による自律的なキャリア形成の推進」の33~45ページをご覧ください。

	タイプ1： オープン・カンパニー	タイプ2： キャリア教育	タイプ3： 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4(試行)： 高度専門型インターンシップ
①目的	他社や業界に関する情報提供・PR	働くことへの理解を深めるための教育	就業体験を通じて、学生にとっては自らの能力の見極め、企業にとっては学生の評価材料の取得	就業体験を通じて、学生にとっては実践力の向上、企業にとっては学生の評価材料の取得
②代表的ケース(主に想定されるもの)	企業・就職情報会社や大学キャリアセンターが主催するイベント・説明会	●大学等が主導する授業・産学協働プログラム(正課・正課外を問わない) ●企業がCSRとして実施するプログラム	企業単独、大学等が企業あるいは地域コンソーシアムと連携して実施する、適性・汎用的能力ないしは専門性を重視したプログラム	●ジョブ型研究インターンシップ(自然科学分野の博士課程学生を対象に文科省・経団連が共同で試行中) ●高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ(仮称)(産学協議会で検討中)
③就業体験	なし	任意	必須 ★(a) 就業体験要件 学生の参加期間の半分以上の日数を職場での就業体験に充てる(テレワークが常態化している場合は、テレワークも「職場」) ★(b) 指導要件 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後、学生に対しフィードバックを行う	必須
④参加期間(所要日数)	超短期(単日)	授業・プログラムによって異なる	★(c) 実施期間要件 (i) 汎用的能力活用型は短期(5日間以上) (ii) 専門活用型は長期(2週間以上)	●ジョブ型研究インターンシップ：長期(2カ月以上) ●高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ(仮称)：検討中
⑤実施時期	時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮し、学士・修士・博士課程の全期間(年次不問)	学士・修士・博士課程の全期間(年次不問)。但し、企業主催の場合は、時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮	★(d) 実施時期要件 学業との両立の観点から、「学部3年・4年ないしは修士1年・2年の長期休暇期間(夏休み、冬休み、入試休み・春休み)但し、大学正課および博士課程は、上記に限定されない	—
⑥取得した学生情報の採用活動への活用	不可	不可	採用活動開始以降に限り、可	採用活動開始以降に限り、可

★(e) 情報開示要件：タイプ3の実施にあたり、募集要項等に、以下の項目に関する情報を記載し、ホームページ等で公表してください。

- ①プログラムの趣旨(目的)
- ②実施時期・期間、場所、募集人数、選抜方法、無給/有給等
- ③就業体験の内容(受入れ職場に関する情報を含む)
- ④就業体験を行う際に必要な(求められる)能力
- ⑤インターンシップにおけるフィードバック
- ⑥採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得した学生情報を活用する旨(活用内容の記載は任意)
- ⑦当該年度のインターンシップ実施計画(時期・回数・規模等)
- ⑧インターンシップ実施に係る実績概要(過去2~3年程度)
- ⑨採用選考活動等の実績概要 ※企業による公表のみ

タイプ3について

上記(a)~(e)5つの要件を満たす場合、以下の①②が可能になります。

- ①プログラムを通じて取得した学生情報を採用活動開始後に活用
- ②募集要項等に「インターンシップ」と称し、「産学協議会基準準拠マーク」を記載 ※マークの取得方法は、産学協議会ホームページをご確認ください。

産学協議会基準準拠マーク



☆産学間による合意事項をまとめた年度報告書や参考資料、解説動画が公開されていますので、「産学協議会ホームページ」も併せてご確認をお願いいたします。



【URL】 <https://www.sangakukyogikai.org/>